

『たかが挨拶されど挨拶』

『ありがとうという感謝の心』

『学校は勉強するところ』



三年生 広島二泊三日 修学旅行

第27号(11月号)
令和3年11月29日
発行: 校長 日下博文

11日 1日目 出発



呉 大和ミュージアム



福山 みろくの里



夕食は 広島焼き



ホテル

朝夕の冷たい空気に秋の終わりと、慌ただしい師走の近づきを感じます。
今回の修学旅行は、当初は関東方面で計画していましたが、昨年の夏に広島方面へ変更し、九月実施予定を緊急事態宣言により、行程はそのまま、十一月へ延期をしております。
肌寒さは感じましたが、好天の中、二泊三日で無事に実施することができました。
修学旅行は行き先も大切ですが、それよりも、普段の生活では体験できないことを体験し、視野・見聞を広げることで、卒業後にはバラバラになる仲間や先生たちと濃密で大切な時間を過ごすことのほうが行き先より大切なことだと思っています。今回二度の変更を乗り越え、貴重な時間を過ごせたことを有り難く思います。

12日 2日目



平和資料館と平和公園の散策



タクシーでの市内班別活動



フェリーで宮島へ



ホテルで夕食

語り伝承者の方からの講話



13日 3日目



厳島神社



予定時刻に西中へバスで帰着



倉敷 美観地区での班別活動



宮島での班別活動

今回の修学旅行で特に強く感じたことがあります。それは、訪問先や宿泊先の方たちが、私たちを心から歓迎してくださっていたことです。みろくの里やミュージアムの方、タクシー会社や講師の先生、宮島ホテルや神社を案内してくださった方々などから「ありがとうございます。本当によく来てくださいました。」とお礼と歓迎の言葉を何度もいただきました。また、平和公園を案内してくださったヒロシマピースボランティアの方からは「久しぶりに子どもたちに案内ができました。熱心に話を聞いてくださったので、こちらが元気をもらいました。」とお礼を言われました。

た。とお礼を言われました。どちらかと言えば兵庫県のほうが感染状況はよくないので、これほど快く迎えてくださると思っていなかった。あたたく迎えていただき本当にありがとうございました。感謝！
私は、子どもたちの人格の形成には教室で学ぶ学習に加え、多くの体験活動がミックスされるのが重要だと考えています。その活動が結果が得られないこともありますが、人格形成にとって貴重な体験であることはまちがいありません。この期に行った一年生・二年生の体験活動は裏面で紹介します。

二年生 トライやるウィーク

トライやるウィークは、阪神淡路大震災後に、学校・地域・家庭が協力し「こころの教育」を推進するために、兵庫県が独自に始めた体験活動です。今では、全国へ広がり、高校や大学でも、インターンシップなど職業体験活動が行われるようになりました。

今年は、事業所のご理解もあり何とか、お世話になる事業所数は確保できたのですが、九月の緊急事態宣言によって中止になってしまいました。とても残念でしたが、二年部の先生方が中心となって様々な福祉活動や体験活動を計画し、十一月八日から、本校独自のトライやるウィークを実施してくれました。十七日の最終日には、医療従事者からコロナの現在の状況について講演もしていただきました。

八日(一日目) 十二日(四日目)

里帰り訪問と緑化美化活動

自分たちが卒園・卒業したことも園や小学校を訪問し、花壇整備やプランターに球根や花の苗を植え、お世話になった感謝の気持ちを伝える活動を行いました。



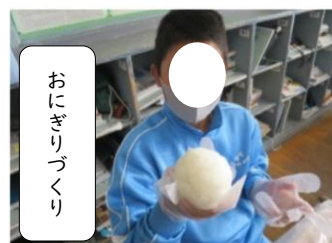
九日(二日目)

野外炊事と登山・美化活動

アルミ缶でつくったコンロと釜で炊飯し、おにぎりを持って「鶏籠山」へ登山、帰路では環境美化活動を行いました。



アルミ缶での野外炊事



おにぎりづくり



「鶏籠山」登山



十日・十一日(三・四日目)

陶芸体験・パラスポーツ体験・漁業体験



陶芸教室



パラスポーツ
ポッチャ体験



室津漁港
漁業体験



一年生 SDGs 学習(九日)

市内でSDGs(持続可能な開発目標)に積極的に取り組んでおられる企業の方々に来ていただき、「SDGsはなぜ重要なの?」「取り組むメリットは?」「何から始めたらいい?」などをわかりやすく教えていただきました。ワークショップ活動なども取り入れていただき楽しく学べる時間になりました。



一年生 ドッジビー・大縄大会

(十二日)

三年修学旅行、二年生のトライやる期間中に、一年生は運動場を使って、学級対抗でドッジビーと大縄大会を行いました。

